

革新的 GX 技術創出事業 (GteX) 革新的要素技術研究
事後評価結果

1. 領域

「バイオものづくり」領域

2. 研究開発課題名

翻訳されやすいタンパク質の設計技術開発

3. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

加藤 晃代(名古屋大学 大学院生命農学研究科 助教)

4. 評価結果

評点: A 優れている

総評:

本研究開発課題は、タンパク質のアミノ酸の組成や配列に着目し、目的のタンパク質がその翻訳段階において効率よく合成され、微生物での高生産が可能となる設計技術の構築を目指している。

タンパク質合成は異種の遺伝子を効率よく利用する際に問題となる点の一つであるが、翻訳段階に着目した本研究が進捗することにより、異種タンパク質生産の困難性の一つが解決する可能性があり、また独自の発見による成果に基づく技術であることも評価できる。微生物による物質生産技術に貢献するためにインフォマティクスなど多面的なアプローチを行うことでタンパク質の翻訳についての新規な知見も見出しており、今後の進展が期待できる。

以上